

# HO YOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

2012. 2 178号



隠れ念仏洞、入口前にて



二月二十三日、一泊二日の日程で、二十名の教区区会議員が参加して『兵庫教区教区区会議員研修会』が行われた。今年度末で教区区会議員の任期が満了することもあり、御礼の意味も含めての、年度末の時期での開催となった。当日は終始晴天に恵まれ、九州の温かい気候の中で研修となった。初日は、鹿児島別院に

参拝。本堂にて、教務所長、多田満之師(教区会議長)の挨拶、来賓の森本信行師(組長会長)の祝辞で開会。その後、別院の沿革や隠れ念仏洞の説明などを受けた後、隠れ念仏の弾圧の歴史を伝える大願寺(真宗大谷派)を参拝。当時の島津藩が行った隠れ念仏者に対する石抱きの拷問の様子を記した絵や、実際に拷問で使われた石などの説明を交えて、弾圧を受けてなお、お念仏をお伝えくださった先人の御苦勞をお聞か

## 教区区会議員が鹿児島にて研修

二月二十三日、一泊二日の日程で、二十名の教区区会議員が参加して『兵庫教区教区区会議員研修会』が行われた。今年度末で教区区会議員の任期が満了することも

参拝。本堂にて、教務所長、多田満之師(教区会議長)の挨拶、来賓の森本信行師(組長会長)の祝辞で開会。その後、別院の沿革や隠れ念仏洞の説明などを受けた後、隠

れ念仏の弾圧の歴史を伝える大願寺(真宗大谷派)を参拝。当時の島津藩が行った隠れ念仏者に対する石抱きの拷問の様子を記した

せいでいた。その後、宿泊先の指宿温泉(指宿白水館)に移動し、名物の砂むし風呂で旅の疲れを癒した。夜の懇親会は、大川久夫師(教区副議長)の挨拶、来賓の中尾教雄師(基推委副会長)の祝辞の後、北村篤隆師(常備会員)の乾杯で開会。懇親会の最後は秋田省吾師(常備会員)の挨拶でしめられた。



東日本大震災津波放射能汚染災害から一年が経過する。その間、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が六十五日間に渡って勤められ、本年一月十六日円成となった。聖人は天変地異が続く時代に生まれた。当時の世相を、鴨長明が『方丈記』に、「京の都が大火で焼かれ地震で山が崩れ川が埋まり、飢えた人々が野山をさまよいつく」といったような状況下で若き親鸞は何に救いを求めれば良いか、思い悩まれたに違いない。後に、恵信尼消息には、聖人四十二歳、佐貫(群馬県)で、自然災害に遭遇、手を差し伸べられながら、余りに悲惨な惨状から、三部経千部説誦を試みられたが思い止まられ、「大悲を普く伝えて、まことに仏恩に報ずるに成る」と自らの生きる方向と責任を

## 教区だより 3月・4月

### 3月

- 1(木) コーラスフェスティバル 終日
- 2(金) アプサラス練習 13:30
- 3(土) 第一土曜仏教講座(僧侶講師 教学伝道研究センター元常任研究員) 13:30
- 4(日) 第27回若婦人のつどい 終日
- 7(水) 寺婦委員総会 13:30
- 〃 年度末組長会 15:00
- 〃 東日本大震災一周忌法要 13:30
- 〃 別院仏定例法座(谷川誠師 神戸西組)
- 8(木) 布教同志会神戸大会 9:00
- 9(金) キッズサンガ研修会 13:00
- 〃 キッズサンガ推進部会 10:00
- 〃 常備会 15:00
- 11(日) 中仏つどい会
- 12(月) 平成23年度蓮華会開法の集い(13日まで) 広島方面
- 14(水) 御同朋の社会を目指す法要(小森龍邦氏) 13:30
- 〃 青僧会役員会 16:00
- 15(木) 仏婦コーラス練習会 10:00
- 〃 常例法座(16日まで 光山道潤師 神崎組) 13:30

- 16(金) アプサラス練習 13:30
- 〃 青僧会開法大会 神姫組常徳寺 14:00
- 19(月) 春季彼岸会(21日まで 藤榮行信師 淡路組) 13:30
- 23(金) アプサラス練習 13:30
- 〃 第4回各種法座出講予定者事前学習会 12:30
- 26(月) 寺婦設立30周年記念行事 刈谷パークホテル 10:30
- 27(火) 門推幹事会 10:30
- 28(水) 第151回定期教区会 10:30
- 29(木) 総代会常任委員会 10:30
- 〃 総代会評議員会 13:30
- 30(金) 仏青役員会 14:00

### 4月

- 2(月) 布教団団長・副団長会議 13:30
- 4(水) 「御同朋の教学構築」専門委員会 研修会 13:30
- 5(木) ナモなもキャンパス東播大会 加古川組普光寺
- 7(土) 第一土曜仏教講座(和谷篤樹氏) 13:30
- 8(日) 中仏つどい会
- 15(日) 常例法座(16日まで) 13:30
- 25(水) 布教団役員会 13:30
- 28(土) 仏青平成24年度総会 懇親会 13:30

### 「御同朋の社会をめざす 法要」のご案内

差別の現実を傍観することなく「差別をなくす」決意をし、その意思を明確に表明するため、慚愧と決意の法要をお勤め致します。皆様のご参拝をお待ちしております。

◆日時/三月十四日(水) 十三時三十分~十六時三十分 ◆会場/本願寺神戸別院本堂 ◆講師/小森龍邦氏(部落解放同盟広島県連合会顧問・元衆議院議員/本願寺派門徒)

### 「無縁社会」をテーマに 研修会

人と人との関係が希薄となる「無縁社会」。この現代における大きな社会的課題を主なテーマに、研修会が開かれます(主催/基推社会対応部門・ビハール兵庫) 僧侶・門信徒問わずご参加ください。

◆日時/三月二十九日 ◆日時/三月三十日 ◆(木) 十三時三十分~ ◆会場/本願寺神戸別院本堂 ◆講師/野呂靖師(本願寺教学伝道研究センター研究員)



第5回の様子(花祭り)

### 第6回 ナモなもキャンパス (子ども集い) 東播大会

「第六回ナモなもキャンパス東播大会」が開催されますので、ご案内致します。

### リーフレット「お彼岸」 受付中



お彼岸

◆主催/教区少年連盟 ◆日時/四月五日(木) 十三時集合 ◆会場/加古川組普光寺/〒六七五・〇一六二 加古郡播磨町二子三〇一/☎:〇七八・九四二・六四二 ◆参加費/二百円 ◆対象/寺院・門信徒の子ども・日校子ども会生及び指導者 ◆日程/十三時/集合・お花作り・作法指導/十三時四十五分/開会式(仏参・お話し)/十四時三十分/お楽しみ/十六時/散会 ◆申込方法/参加者の名前、子ども・大人かを記入の上、FAX

### 敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します 藤本尚子(朝来組善證寺前坊守) 平成二十四年一月二十五日七十四歳 【敬称略】 二月二十一日現在

支援金・義援金報告(総額) 支援金 百九十七万七千五百一円 義援金 千九百九十九万八千六百六十三円 (二月二十一日現在)

# 連区青年布教使が研修

二月八日から、一泊二日の日程で神戸別院にて七十二名が参加し「第三連区青年布教使研修会」が開催された。

初日は釋徹宗師（相愛大学教授）の講義が、二日目は、大西耕雲師（同朋講座における差別発言事件対応委員会会長）、宇野哲哉師（中央相談員）による基幹運動の講義が行われた。

また、お夕事・お朝事では、参加の青年布教使による布教実演があり、赤松普宣師（兵庫教区赤穂北組専稱寺）、植田稔師（京都教区上東組浄宗寺）が布教を行った。

## 釋徹宗師講義

伝道という行為は「ある特定の物語を共有する」わけです。人間とは、何らかの意

味付けが無いと不安になります。常に何らかの意味を求めます。この「意味」を沢山東

「伝道という行為」宗教を物語と言うと随分誤解されるので、私は「宗教的ナラティブ」と使っています。ナラティブとは、医療や教育で注目されている概念で「語り」という様な意味です。宗教の語り、物語の特徴は「他の物にとって代わることができない」ということがあります。



柔らかい語り口で語られた(釋徹宗師)

我々にとってお念仏や阿彌陀仏は、他の物で代替できない。この物語を変更する訳にはいかない。なぜなら「それによって生きたり死んだりしてきた」からです。このナラティブによって生き死にを連綿と繰り返してき

た。語り続けられる物語というのは、何物にも代えることは出来ない。これを「共有する」という事が、伝道という行為になるんです。

## 死をも超える物語

死を支える。

この「生き死にのナラティブ」というのは、人間の生そのものを根源的に支えます。人間の生き死にの物語が機能すれば、人間は生き抜けるんだ、死に切っていきけるんだという理屈です。

## 社会的救いと宗教的救い

そういう意味で、宗教的救いと、社会的な救いは別という事になります。社会が提供する救い、医療、教育、法律や行政によって救われる。これは共有する物語が無くても救われます。

実際、政治的に救われますし、身体的にも精神的にも救われるという事が起こります。でも宗教的救いはそうはいかない。宗教的救いは「同じ道を歩まない」と起らない。宗教的救いは「同じ道を歩まない」と起らない。宗教的救いは「同じ道を歩まない」と起らない。

## 現世を超える価値

だから、社会的救いに

宗教が貢献するのは大切な事ですが「社会と同じ価値しか持っていない」のであれば、宗教の存在意味はほとんど無いです。むしろ、行政サービスの方がずっと優れていま

「生き死にの物語を共有する喜び」というのは、人間の根源的な喜びだと思えます。恐らく何万年も変わっていない。

## 宗教の真骨頂

「共有できる価値、物語があるか？」という問いかけが、現代人には必要だと思えます。現代人は、共有できる大きな物語がほとんど外されていくという社会に生きています。そうなる

## 道を共にする喜び

しかもこの宗教の物語は「亡くなった人とも共有している」訳です。目に見える世界だけの物語ではない。先に往った先哲とも共有する物語。つまり伝道というのは

（事務局抜粋）

## 度重なる差別投書をしたあなたへ

### 【第2通】発信について

「兵庫教区内より発信された連続差別投書事件」以来、様々な分析や対応を積み重ね、「度重なる差別投書をしたあなたへ」というアピール文を出すに至りました。

その中で、「あなたが自らの意志で、問題解決に向けて早急に名乗り出てくることをわたしたちは待っています。」と呼びかけました。

しかし、一年余りの時を経たにもかかわらず、行為者からの名乗り出はありません。問題解決への歩みを進めるために、再び呼びかけをすることになりました。

差別事件対応専門部会の作業部会では「兵庫教区内より発信された連続差別投書事件」対応委員会が策定した「対応要綱」に基づき、差別投書をあらゆる角度から再吟味する事で明らかになった事実から「連続差別投書事件」が起きた根源は、宗門や教区の「同朋講座にお

## 聞法の日 第十回布教大会

二月二日、神戸別院にて「第十回布教大会」(教区布教団主催)が開催された。

若手から年長者まで、教区より八名の布教使が出席して行われる本大会。寒波の真つただ中にもかかわらず、遠近各地から訪れた参拝者の熱気で会場は包まれた。

## 組長が本山参拝

二月十三日、今年度で教区組長の任期が満了するに当たり、各組組長が本願寺への御礼の御挨拶を目的に「兵庫教区組長会本山参拝」が行われた。

当日はあいにくの雨にも関わらず多くの組長が参加。本願寺の書院拝観の後、龍虎殿にて勤行、教務所長、森本信行組長会長の挨拶で開会となった。開会式に続き一行は、大



お説教の様子(天野真隆師)

大会は真宗宗歌の斉唱、布教団団長(教務所長)挨拶にて開会。午前四人、午後四人と間に休憩をはさみながら布教が行われ、最後には全員で領解出言、布教団副団長(増井浄見師)挨拶の後、恩徳讃の斉唱で閉会となった。

聞しようとながけてはいるが、なかなか聞けない。このような機会があつて良かった」 「仏法にあうことは自分の姿にあうこととお聞かせいただいた」 「仏法は聴聞にきはまるといふ言葉を身に染みて感じた。二度と同じ話ばかり聞けない、午前のお座にお参りできなかったことが勿体なかった」と話す方も。出講の布教使は次の通り【午前の部】◆天野真隆師(揖保郡善導寺)「いつ

遠忌法要参拝席撤去工事中の御影堂の前にて御真影様にご挨拶後、阿彌陀堂を参拝。小松勝昭組長の調声にて重誓偈のお勤めが勤まり、御本山への御礼のご挨拶となった。本願寺参拝の後、親鸞聖人御往生の地、角坊(本願寺飛地境内)を参拝。新しく建て直された本堂にて沿革の説明等を受けた。

その後、夕食懇親会では、宗会議員の豊原大成師、西脇修師、藤本教師と教区会議長の多田満之師を来賓に迎えた。懇親会ではお互いに長年組長として勤めた苦勞をねぎらい、賑やかに会は進化した。最後は小松組長、帆保孝昌組長、会副会長の挨拶にて閉会となった。次期組長は四月一日以降、選挙により決められる。



角坊にて記念撮影